

京都創造者大賞2019

～創造と交流が生み出す未来～

古典文化の普及啓発活動～「11月1日・古典の日」の全国展開へ向けて～

大賞

古典の日推進委員会 様

京都府、京都市、本所等で組織する京都創造者大賞顕彰委員会(委員長:本所会頭 立石 義雄)では、京都ブランドのイメージアップや京都の都市格向上に著しく貢献している、又は、今後貢献が大いに期待できる取り組みの担い手を「京都創造者」として、オール京都で表彰しています。この度、13回目となる「京都創造者大賞2019」の受賞者を決定し、9月10日に京都産業会館ホールにおいて授賞式を開催しました。

京都創造者大賞

古典の日推進委員会 様

古典文化の普及啓発活動～「11月1日・古典の日」の全国展開へ向けて～



古典に抱かれて



11月1日 古典の日

古典に抱かれて



11月1日 古典の日



「十一月一日・古典の日」の宣言以来、多彩な文化事業を展開、その結晶ともいえる「古典の日に関する法律」の公布をもたらされた。今や、十一月一日は古典の日、と国中に知れわたり、多くの人々が古典を思う心を年々新たにしている。とくに現代社会にとっての古典のちからを発見すべく、次代を担う若者たちとの交流、対話を展開される活動は、京都に古典とともに息づく文化を次代へと引き継ぐ役割を担っており、そのたゆまぬご尽力に敬意を表したい。今後、京都が誇る古典文化が、世界の人々からも、これまで以上に身近な存在として語られ、古典の日がさらに輝きを増す時代が来ることを期待したい。

講評

京都創造者大賞事務局 (本所 産業振興部内)

TEL : 075-341-9773 / FAX : 075-341-9796
E-MAIL : taisyo@kyo.or.jp

えびす屋(株式会社ベリー・プロジェクト) 様

京都から全国へ。観光人力車「えびす屋」



二十数年前、名所旧跡を訪なう人々を楽しませようと登場したえびす屋の観光人力車は、今では、嵐山と東山の顔として定着している。しかしそれが実現したのは、走行路の清掃活動と土地の歴史まなびの熱意が地域の人々に喜ばれた結果であり、容易な道のりではなかった。創業以来の躍進には目を見張るものがあるが、過去のものであった人力車を人々の余暇と対話のために蘇らせたことは、国内外からの観光客に様々な感動を与えており、その反響を糧に益々発展されることを期待したい。

講評

染司よしおか 様

植物染による日本古来の色文化の再現～草木花から色を汲み出し、美しい染織品を生み出すという伝統の技を、現代に甦らせる～



日本の人々は、古くから四季の移ろいがあやなす色合いに憧れ、肖ろうとしてきた。色にまつわるその繊細な文化は、植物染の技法を核として伝わり、近代の化学染料万能の風潮にも耐えつつ、続いてきたが、染司よしおかの吉岡幸雄氏は、正倉院御物をはじめとする多くの遺物および広範な古典の研究と、染師福田傳士氏らとの無数の試作の中から、失われた色や技法をも現代にしかと蘇らせただけでなく、先人の配色感覚の復元にも力を発揮された。そのゆるぎない世界は、海外の人々をも魅了し、さまざまな文化創造に靈感を与えはじめている。益々のご研鑽と次代への傳承に期待したい。

講評

株式会社丹後王国 様

西日本最大級の道の駅 丹後王国「食のみやこ」



「く」を名乗りうる広大な敷地と豊富な食材を活用し、会社の発展と、それを取り巻く地域の振興に貢献されている。地元の良い質な農産物へのこだわりは、来場者に美味と安心と喜びを提供するのみならず地域産業の活性化を推進しており、まさに地域創生を体現されている。今秋には京都錦市場商店街にも情報発信拠点を設けられるとのこと。単なる道の駅としての発展にとどまらず、古代からの歴史豊かな丹後地域そのものの輝きに寄与しておられる点を評価し、「丹後王国」らしさの二層の深まりに期待したい。

講評

講評: 京都創造者大賞 選考委員会 委員長 横山 俊夫